

子どもNPOセンター Information Clip



空とぶじゅうたん おはなしぷくぷく

「おはなしぷくぷく」は楽しいことが大好きなお母さん達のサークルです。人形劇や紙芝居、手遊び、パネルシアターなど「楽しいこと」と一緒に各地の保育園、幼稚園、児童館に公演に出向きます。



What's トントントン

身体をいっぱい使ってイメージの世界を楽しむ表現あそび。演じる側と見る側がいっしょになって想像の世界でおはなしを楽しむ朗読劇。表現遊びと朗読劇の2本立てで幼児から小学生までの子どもたちに楽しい時間を届けます。

子どもと文化の 素敵な出会いを プロデュース!!

たとえば、「学校で子どもたちに芸術鑑賞を・・・」「イベントで楽しい遊びを・・・」「親子の集いやPTA行事に何か・・・」さまざまなニーズに応じた企画を紹介しています。お気軽にお問い合わせください。

日程と希望作品の調整のため、
半年前にはご連絡ください。

これまでの実績 ●鯖江市小学校公演紹介 ●小浜市小学校公演紹介
●福井市公民館イベント紹介
●福井市小学校親子の集い企画紹介 などなど。

認定NPO法人 福井県子どもNPOセンターにご支援ください。

子どもNPOセンターは、国際条約でもある「子どもの権利条約」に沿って子どもの最善の利益を考えて日々の活動をつないでいます。

支援会員		
A. 賛助会員 子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動を支援する会員。	●個人	一口年額／ 5,000円
	●団体(法人)	一口年額／ 10,000円
B. ボランティア会員 子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動にボランティアとして協力・参加する個人。	●個人	一口年額／ 1,000円
	●ふくいチャイルドラインの支援基金	一口一回／ 500円
C. ワンコインサポーター		

入会方法

郵便振替の通信欄に、
①住所 ②氏名 ③電話番号
④会員の種類(左記ABCいづれか)
⑤口数 を記入してお振込みください。

郵便振替

00770-1-45546
福井県子どもNPOセンター

◎税制上の優遇措置について

「認定特定非営利活動法人」へのご寄附や、正会員以外の年会費等は、下記のような税制上の優遇措置(寄附金控除)が受けられます。ぜひご利用ください。

①個人のご寄附

【所得税】(寄附金の合計額－2,000円)×40%が税額控除されます。[上限:所得税額の25%]
【住民税】自治体によって異なります。お住まいの自治体にお問い合わせください。
【相続税】相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に寄附した場合、寄附をした財産には相続税が課税されません。

②法人のご寄附(法人税)

認定特定非営利活動法人への寄附金の特別損金算入限度額が改正されました。(2012/4/1)
{(資本金×(当期の月数÷12)×0.375%)÷(所得の金額×6.25%)}

※詳細については、最寄りの税務署にお問い合わせ下さい。また、国税庁のウェブサイト(国税庁>申告・納税手続>認定NPO法人制度)でも手続きの詳細が掲載されています。

団体正会員	
鯖江子ども劇場	〒916-0024 鯖江市長泉寺町1-9-20 鯖江市民活動交流センター内
小浜子ども劇場	〒917-0231 小浜市国分50-9 TEL.0770-56-2867
勝山子ども劇場	〒911-0811 勝山市片瀬町1-402 勝山市民活動センター内 TEL.0779-87-1011 FAX.0779-87-1022
NPO法人 福井芸術文化フォーラム	〒910-0019 福井市春山2-7-1 (福井市文化会館内) TEL.0776-23-6905 FAX.0776-23-7905

福井県子どもNPOセンターを支援しています。

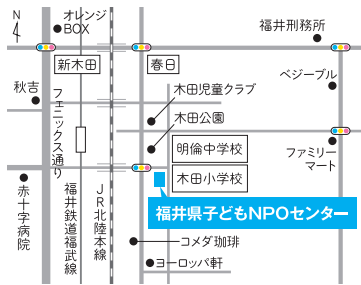
- | | | |
|------------------|----------------|---------------|
| ●有限会社イタクラ | ●スクエアパーク | ●福井県映画センター |
| ●大久保リースホームビル株式会社 | ●造家屋 | ●まきレディースクリニック |
| ●太田木材株式会社 | ●つちだ小児科 | ●三井皮膚科医院 |
| ●大月産婦人科クリニック | ●ネッツトヨタ福井株式会社 | ●山内整形外科 |
| ●上屋敷工業株式会社 | ●バルーンギフト館 | ●りつこ山野流着装教室 |
| ●さかい動物病院 | ●光タクシー有限会社 | ●六感デザイン |
| ●学校法人 福井仁愛学園 | ●福井キャンソ事務機株式会社 | |

認定NPO法人

福井県子どもNPOセンター

〒918-8106 福井市木田町36-1 コーポ木田201号
TEL.0776-97-8460 FAX.0776-97-8461
E-mail childnpo@muse.ocn.ne.jp
URL http://childnpo.com

企画・編集／福井県子どもNPOセンター デザイン／六感デザイン



こどもChannel 54th

2015年8月31日発行(年3回発行) 通巻第54号

Take Free [無料]

こどもChannel

チャンネル

発行：認定NPO法人 福井県子どもNPOセンター URL: <http://childnpo.com>

2015
54号

みる きく
あそぶ かんがえる

「今」を生きる子どもたちと、
かつて子どもだった
大人たちを
つなぐ情報誌。

特集

子どものチ・カ・ラ6

2015年5月『ガザ―戦争しか知らない子どもたち(ポプラ社)』という写真絵本が発刊された。作者清田明宏氏は国連パレスチナ難民救済事業機関の職員で、2014年8月～9月、そして今年の3月のそれぞれ何日間か、戦争中のガザ、停戦後のガザを訪問した。

この絵本は清田氏が「わたしは、これまで何度か、この地を訪問してきたがこのときの訪問は、これまででいちばんつらいものであった。と同時に、もっとも勇気づけられ、心が動いた日々となった」と綴りながら、生々しい戦禍のガザで、今懸命に生きる子どもたちの、人々と支えあってたくましく背筋を伸ばして生きる姿、笑顔を写真と共に記録したものである。

シナイ半島の東地中海に面した、「360平方キロメートルほどの小さな土地。8メートルもの高さの壁などにぐるりと囲まれた、収容所のような都市、それが、ガザ」「検問所を通らなければ出入りすることができない。移動の自由が奪われた都市、ガザ」は、1948年から戦争が続く。パレスチナ地域をめぐる「イスラエル」と「パレスチナ」の二つの国の争いは今もなお続く。21世紀だけでも4回の戦争が起きているところだ。

例えば、ガザ北部に住む15歳の少女イマンは7歳からこの4回の戦争をすべて体験し、大破した家屋の青空に屋根だけのわずかに残った部屋で家族7人と住む。12歳の少女ナダは、3回の戦争に遭遇し「こわくてこわくてしかたなかった」と。12歳の少年モハメドは「逃げる途中、いくつもの死体を見た」と避難所でカウンセリングを受けながら絵で描写する。ここで生まれた6歳以上の子どもたちは、まさに、「戦争しか知らないこどもたち」なのである。

同様に、ここに住む大人たちも決してホー

ルドアップしているわけではない。自分の家族より多くの戦禍の犠牲者を守り、介護しケアを重ねる中で「日常がそのまま壊れてしまった」「笑う気力など残っていない」とつぶやく。ガザに住む人々の心まで破壊し、人々を「恐怖」の一言で覆ってしまっているのだ。

日本にだって戦争ではないが、自然災害・2011年3月11日東日本大震災が起これ、突然に家屋はもちろん親や兄弟といった大切な家族を失った多くの子どもたちがいる。報道を通して体感した惨劇は私たちの記憶に生々しく残る。

しかし、年を重ねるごとに惨禍の跡は薄れていくような気がして、私は怖い。多くの人々を傷つけたまま通過していく時が、時代が。

2012年3月からガザの子どもたちは、東日本大震災で苦しむ日本の子どもたちへの共感の意思を伝えて風揚げをしている。2015年3月9日にも。同じとき2015年3月8日、大震災で大きな被害にあった日本の釜石の子どもたちも戦争で苦しむガザの子どもたちのために祈りの風揚げをした。遠く離れた土地の子どもたちの、苦しみを体験した子どもたちの心が一つになった瞬間といえる。

私たちも今、平穏である時こそ、このように心に感じる思いを形にして、行動をすることを、これからの子どもたちに託す姿勢として見せていきたいと思う。

[越前市かこざとしふるさと
絵本館々長 谷出千代子]

Channel★ジャミ×2

～編集後記～

「あだ名をつけてもらえたらうれしい。」と娘。「じゃあ、あなたにはどんなあだ名がついているの?」と聞くと「小型機」「小さくて小回りがきくってことかな?」「あと、ゴキブリ」「えっ、それは悪口じゃないの?」「ちがうよ! ゴキブリは地球上で何億年も絶滅せずに生きている生き物だよ。生きる力があるってことだよ～。私、気に入ってる(^^)」…なんてステキな鈍感力。(ふじりんご)

うめだ演劇工房 演劇キッズ



「あえいうえおお!!」

大きな声で

7月4日、ついに演劇キッズがスタート! 演劇キッズは仲間とのコミュニケーション力を高め、表現する楽しさを知り子ども自身が達成感を味わうことを目的としています。
福井市内外から20名の子ども達が集まり、来年3月の発表会に向けてレッスンが進められています。「女優になりたい」、「お母さんに行けと言われた」、「ステージが好きだから」と、きっかけは様々ですが目指す所は皆一つ。初めは声も小さく名前を言うのがやっとだった子ども、どんどん自分を表現し、20人の素敵な個性がはっきり見えてくるようになりました。レッスンでは実際の【もの】を使わずボールをもって想像し、仲間にパス! 最初は戸惑いながらもそれぞれが想像したボールを目で追い集中。「見えた!」そんな声も聞こえてくる。
今月は表現遊びから始まり、発声、滑舌。台本が子ども達の手に渡るまで、まだやらなければならない事がたくさんありますが、とにかく表現するという事を思い切り楽しんで欲しい。3月27日の響のホールの発表会に皆さんぜひいらしてください! (鷺田静佳)

■とき:7月4日~3月27日 全28回予定
■講師:梅田美千代



福井市おもてなし観光推進室協働事業

愛宕坂にぎわい事業



あたごサカス子もシアター (人形劇団ほんわかシアター)
人形劇「かあちゃん だあーいすき!!」

雪だるまちゃんとペンギンくんのかわいい人形劇を親子で観に来ませんか? 10月10日~12日は「愛宕坂灯りの回廊」にて子どもたちの工作ピカピカ光る「あんどんどん」を展示中です。

■とき:10月10日(土) 16:30開演【上演時間 約1時間】
■ところ:足羽山青松園 ■参加費:無料 ■対象:幼児・低学年親子
■要申込【申し込み多数の場合は抽選】 お問い合わせください。

予告



みんな みにきて!
みせにきて!!

アップロードを拠点に福井駅前でもいっきり遊ぼう。ボクたちのお店、子どもパフォーマンスらいぶ、子どもミニ工房コレクション(ワークショップ)を予定しています。

■日時/10月18日(日) 10:00~16:00

子どもフェスタ
ふくいっちゃんキッズ2015
子どもゆめ基金助成事業

文化企画事業

子どもと



帰りはみんながハンドシャドウ!

7月28日(火)福井市文化会館 福井市児童クラブ連絡協議会主催
児童クラブふれあい事業に、劇団かし座「ハンド・シャドウズ・アニメ」を紹介しました。しなやかな手の動きで表現された動物の影絵に、1000名の児童は釘づけ! どうやったらあの動物ができるのか? 想像力フル回転の1時間でした。

居心地のいい育児

今の時代、ネットを開けば全国から、はたまた海の向こうからだって「うちの場合はこうでした!」の投稿が勢ぞろいしている。こうした「いつでも検索できるネット情報」を上手に使いながら、リアルなつながりを生み出すのが「空たん」である。
空たんメンバーが大切にしているのは、会ってすぐ近くで話すこと。電子文字でなく、原始的な身振り手振りと、抑揚のある声で聞かされるエピソードが、どれだけ記憶に突き刺さるか、見るも明らか。空たんのマタニティカフェに来れば、育児が無敵であることが一目で分かるだろう。そして自分の人生が子どものそれとは別物で、自分の夢や目標を思い出すきっかけにたくさん出会うことだろう。
今年の空たんは特に、子どもに関わるすべての大人たちに、自分の目で、肌で、子どもとの生活を見つめる場を提供する。子どもが生まれる前でも、いろんな人と会って話をして、自分に合った居心地のいい育児観を探ってみてほしい。みんなが初めて。だからこそ早い時期からつながっていてほしい。これは、育児を経験してきた母達の共通の願いでもあるのです。(島田貴和子)

■9月16日(水) 10時~12時
内容:ミニ人形劇と簡単人形作り
■10月2日(金) 10時~12時
内容:栄養のはなし

今後の予定

会場:太田木材(株) 永平寺町松岡兼定島14-36-7 参加費:300円



空とぶじゅうたん主催の
イベント情報を誰よりも早くGET!

『空とぶじゅうたん通信』
配信中!!

福井県子どもNPOセンターのメールアドレス
childnpo@muse.ocn.ne.jp
または右下のQRコードから、
「空たんメール希望」と送信ください。

※件名に「空たんメール希望」、本文に「お名前」をお忘れなく。



子どもNPOセンター

福井県まごころ基金助成事業

大人が学びあう講座

子どもの貧困



昨年末の認定を受けて、今年度はいろいろな新しい事業に取り組みます。「子どもと文化に関する交流、サポート及び人材育成事業」の中の大人向けの研修もその1つです。昨今は子どもが被害者になるだけでなく加害者として巻き込まれるような犯罪が立て続けに起きており、子どもたちに豊かな生育環境を作っていない私たち大人の責任を痛感します。家族が多様化してかつての家族像が当てはまらなくなった今は、学校や家庭だけでなく社会全体で子どもを見守り育てていかなければならない時代なのです。
子育て中の方だけでなく、現在は子どもと接点のない方にも子どもの環境に関心を持っていただき、私たちにできることを一緒に考えていきたいということでこの研修を組みました。今年は「子どもの貧困」をメインテーマに、それと密接に関わってくる虐待や自尊心の回復トレーニングなどの講座を企画しています。

講師(予定)
幸重忠孝氏(幸重社会福祉士事務所 所長)
橋本達昌氏(児童養護施設一陽所長)
徳丸ゆき子氏(大阪子どもの貧困アクショングループ代表)
中野満知子(アサーティブジャパン認定講師 オフィス「想」ネットワーク主宰)

ふくいチャイルドライン

子どもの声に耳をすます電話

「はい、チャイルドラインです。」「先生と校内発表の内容について話し合いをしたが、私の気持ちを分かってくれず悔しい。」と泣きながら女の子の声。受け手が女児の気持ちを丁寧に聞いていくと、女児は自分の行動が客観的に見えてきたようです。自分が次にどうしたらよいのかを見つけ出すことができ、どん底の気持ちが明るい声に変わる...そんな電話がありました。先生・親・友人に言えない話でも相手が見えないからこそ話せることがある。秘密は守るよ、どんな話でもいい、名前を言わなくていい、いつ切ってもいい、チャイルドラインはこうに子どもたちが安心して電話をかけられる居場所です。一例を紹介しましたが、毎年ライン実施の概要・電話内容の多様なデータ分析・受け手研修会についてを記載した報告書を発行しております。必要な方はセンターまでお問い合わせ下さい。(谷内由美子)

18才までの子ども専用電話
月曜日~土曜日 16:00~21:00

☎0120-99-7777

